2020年9月29日 火曜日

山陰中央新報

着実に歩んでほしい」と訓示。学生代表の徳田琢磨さん(19)と松本知大さん(19)は「相手に寄り添うことができる看護師になれるように覚悟を持って、学んでいきたい」と抱負を語った。

実習は松江市や安来市、出雲市などの病院で実施する。例年は6月に始まるが、今年は新型コロナの影響で医療機関の受け入れが遅れており、日程を詰めて対応するという。

(片山皓平)

心温まるエピソード 奥出雲の思い出写真

出雲三成駅で展示

奥出雲町三成のJR木次線出雲三成駅で、県内外の人々が同町内での思い出を収めたエピソード付き写真展「奥出雲の思い出」が開かれており、応募者の心温まる話とともに幅広いジャンルの写真が、訪れる人を和ませている。30日まで。

新型コロナウイルス感染の影響が続く中、奥出雲町のことを思い出しながら、町を訪れた経験がある人と住民双方が元気になってもらおうと町観光協会が企画。4月から7月にかけて協会のホームページで募集して95人が応募し、複数の作品を寄せる人もあった。

会場には、トロッコ列車「奥出雲おろち号」で町を訪れた時、園児たちが手を振って迎えてくれたほほ笑ましいエピソード付き作品や、東京からやって来た高校生が地元では見られない水田の景色を見た際の感想付き作品など95点が並ぶ。

町観光協会の日野由加里観光コーディネーター(33)は「寄せられた作品を見て私たちも奥出雲の良いところを再発見できた」とほほ笑んだ。

(清山遼太)

寄せられた写真とエピソード

紙面編集・川上ゆかり

実習生に「覚悟」

看護師目指す学生

学生代表の徳田琢磨さん(19)と松本知大さん(19)は「相手に寄り添うことができる看護師になれるように覚悟を持って、学んでいきたい」と抱負を語った。

実習は松江市や安来市、出雲市などの病院で実施する。例年は6月に始まるが、今年は新型コロナの影響で医療機関の受け入れが遅れており、日程を詰めて対応するという。

(片山皓平)

新型コロナ 自分事として考える必要

報告を受けたグループ討議では「高齢化が進んでいるとは感じていたが、数字を示され『やっぱりな』と思った」「増加する空き家をうまく利活用できないか」といった意見が出た。

同コミセン運営委員会の福間文雄会長(71)は「想定以上の参加があり、関心が高いことが分かった。今回で終わらずに、若い世代を巻き込みながら考えていきたい」と話した。

(新藤正春)